

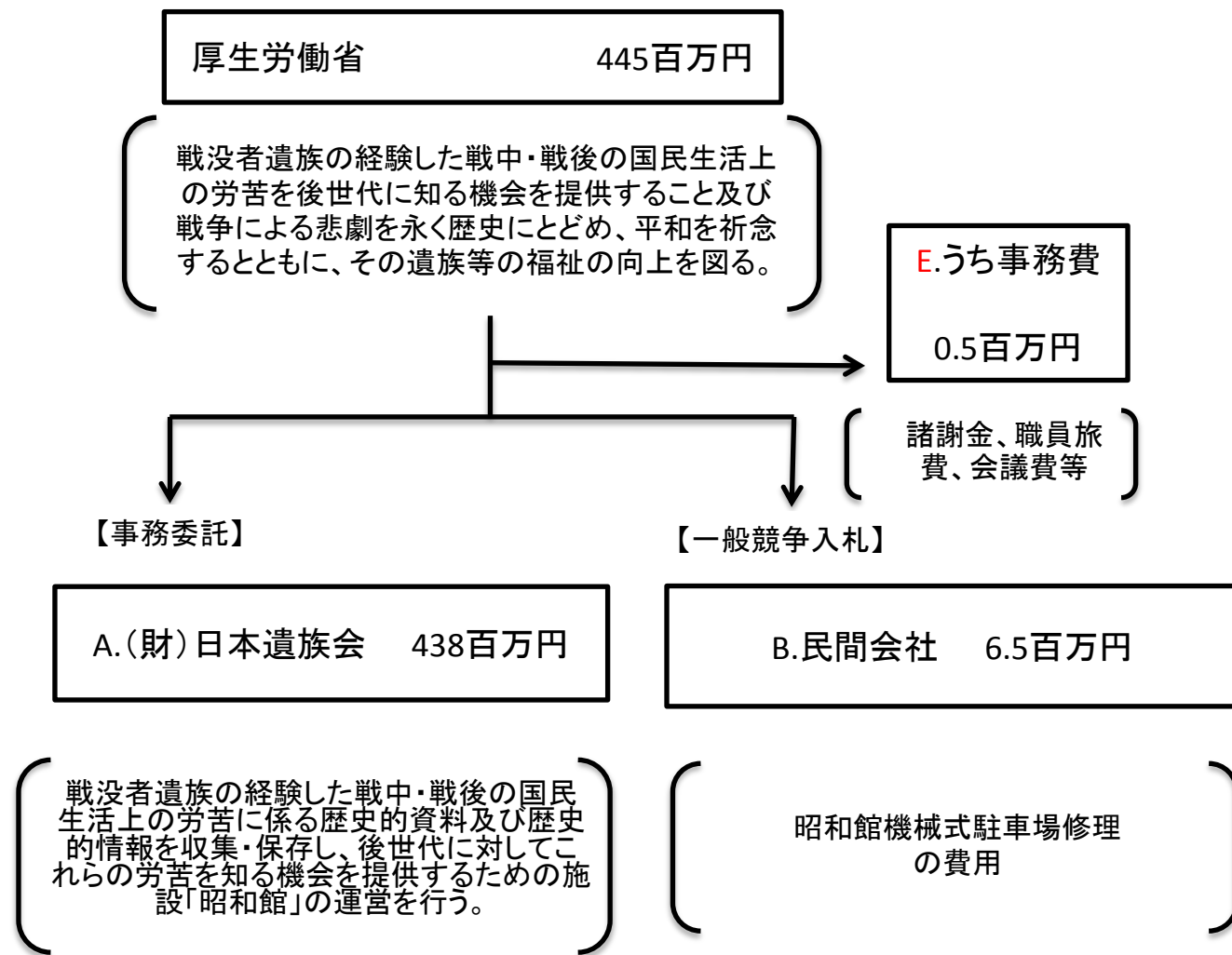
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	昭和館運営等事業		担当部局庁	社会・援護局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	①平成11年度 ②平成14年度		担当課室	援護企画課		井原 辰雄		
会計区分	一般会計		政策・施策名	Ⅶ-5-1 戦傷病者、戦没者遺族等に対して、援護年金の支給、療養の給付等を行う				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	昭和館運営委託費の交付について(平成25年5月28日厚生労働省発社援0528第2号) 遺族及留守家族等援護活動費の国庫補助について(平成22年3月24日厚生労働省発社援0324第15号)				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	戦没者遺族の経験した戦中・戦後の国民生活上の労苦を後世代に知る機会を提供すること及び戦争による悲劇を永く歴史にとどめ、平和を祈念するとともに、その遺族等の福祉の向上を図ることを目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	①昭和館に係る経費 主に戦争に関する歴史的事実のうち、戦没者遺児をはじめとする戦没者遺族の経験した戦中・戦後の国民生活上の労苦に係る歴史的資料、情報を収集及保存することにより、後世代に戦中・戦後の国民生活上の労苦を知る機会を提供する。 ②遺族及留守家族等援護活動費補助金 対馬丸記念館という地域住民との交流の場において、高齢化した戦没者遺族等を含めた地域住民に対するメンタルヘルス相談、生活相談、その他生活上の各種相談及び遺族の内的的信条に関する事例調査研究を行う。また、地域に密着した各種相談講習会を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	①	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	451	437	446	438	513	
		補正予算	/					
		繰越し等	△2	2	/			
	計	449	439	446	438	513		
	執行額	448	437	445	/			
執行率(%)	99.8	99.5	99.8	/				
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	②	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	5	5	5	5	5	
		補正予算	/					
		繰越し等	/					
	計	5	5	5	5	5		
	執行額	5	5	5	/			
執行率(%)	100	100	100	/				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		/	単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)
	昭和館の入館者数		成果実績	人	265,092	244,319	290,244	前年度以上
			達成度	%	99.4	92.2	100	/
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		/	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	昭和館の入館者数		活動実績(当初見込み)	人	265,092	244,319	290,244	—
					(前年度以上)	(前年度以上)	(前年度以上)	
単位当たりコスト	1,537(円/入館者数)		算出根拠	H24予算額 446,176,000円/H24入館者数 290,244人				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.3	0.3	システム改修による増				
	職員旅費等	0.6	0.5					
	庁費	0.2	0.2					
	各所修繕	6.1	6.7					
	事務委託費	431	500					
	補助金	4.9	4.9					
	計	443.1	512.6					

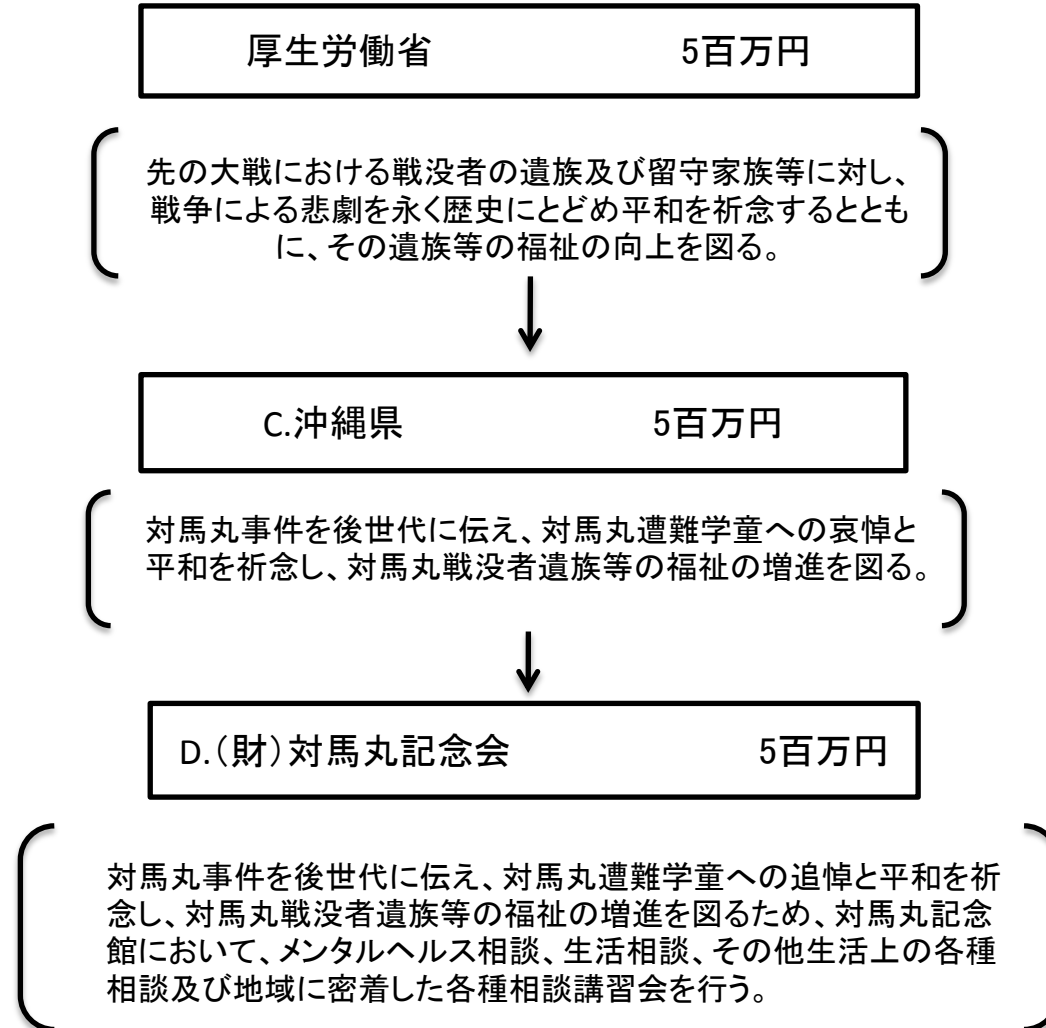
事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業の目的である戦没者遺族の戦中・戦後の労苦の継承及びその遺族の福祉向上を図ることは国の責務であり、国で実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	本事業の目的である戦没者遺族の戦中・戦後の労苦の継承及びその遺族の福祉向上を図ることは国の責務であり、国で実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	戦没者遺族の戦中・戦後の労苦の継承及びその遺族の福祉の向上を図ることは重要であり、優先度の高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	本事業は、「昭和館運営委託費交付要綱」に基づき、一般社団法人日本遺族会に委託している。当該団体は、戦没者遺児記念館(仮称)基本構想(平成4年8月)により、労苦を自ら体験した戦没者の全国組織である団体が最適であるという意見から選定したものである。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—	—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	実績を元に必要最小限の予算計上に努めている。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—	—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	本事業は、昭和館運営事業費や遺族の福祉向上のための補助事業費となっており、必要費目に限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	本事業では、労苦を後世代に伝えるための展示施設を運営し、多くの入館者数を集めていること、遺族等を一同に集めた健康相談を実施していることから実効性の高い手段となっている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	昭和館事業、遺族相談事業ともに、事業開始以来、一定の入館者、参加者が実績がある。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—	—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	本事業については、事業開始以来一定の入館者数実績があり、実効性の高いものとなっている。平成24年度入館者数も前年度以上となっており、予算規模、支出もそれに見合った適正なものとなっている。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き必要な予算措置に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	456	平成23年	414	平成24年	360

①昭和館に係る経費



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

②遺族及留守家族等援護活動費補助金



費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.日本遺族会			E.100万円を超える支出が無いため省略		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	昭和館の運営に係る職員給与、諸謝金、非常勤報酬等	153			
展示事業経費	昭和館の展示事業等に必要展示資料収集費、映像資料関連経費、情報機器関係費	108			
事務費	昭和館の運営に必要な備品購入費、消耗品費、通信運搬費、光熱水料、印刷製本費	79			
施設維持管理費	昭和館の施設維持管理に必要な経費	79			
特別企画展経費	昭和館の趣旨がより深く理解されるために開催する特別企画展に必要な経費	26			
来館促進経費	昭和館の普及啓発に必要な経費	12			
職員旅費	昭和館の運営に係る職員の旅費	2			
入館料等収入	昭和館来館者の入館料及び駐車場使用料等	△ 21			
計		438	計		0
B.三菱重工パーキング(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
各種修繕	昭和館機械式駐車場修理	6.5			
計		6.5	計		0
C.沖縄県			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事務費	健康相談及び生活相談事業に必要な消耗品等、印刷製本費、通信運搬費、借料及び損料、賃金に係る経費	4.2			
諸謝金	生活相談員に対する謝金	0.8			
計		5	計		0
D.(財)対馬丸記念会			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事務費	健康相談及び生活相談事業に必要な消耗品等、印刷製本費、通信運搬費、借料及び損料、賃金に係る経費	4.2			
諸謝金	生活相談員に対する謝金	0.8			
計		5	計		0

支出先上位10者リスト

A. (財)日本遺族会

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本遺族会	戦没者遺族の経験した戦中・戦後の国民生活上の労苦に係る歴史的資料及び歴史的情報を収集・保存し、後世代に対してこれらの労苦を知る機会を提供するための施設「昭和館」の運営を行う。	438		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B. 民間会社

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱重工パーキング(株)	昭和館機械式駐車場修理	6.5	1	98.28
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C. 沖縄県

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	沖縄県	先の大戦における戦没者の遺族及び留守家族等に対し、戦争による悲劇を永く歴史にとどめ、平和を祈念するとともに、その絵続投の福祉の向上を図る。	5		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D. (財)対馬丸記念会

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)対馬丸記念会	先の大戦における戦没者の遺族及び留守家族等に対し、戦争による悲劇を永く歴史にとどめ、平和を祈念するとともに、その絵続投の福祉の向上を図る。	5		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					